

■■■ 2018年度KFC総会報告 ■■■

5月26日にKFCの2018年度総会を開催しました。例年、総会後のニュース巻頭言は、理事長が責任をもって報告せよということで私が担当することになっています。当初、今年も総会の内容について、詳細を報告しようと思っていたのですが、昨年度からは、KFCのホームページに事業報告もアップしていますので、報告部分は割愛させてもらい、今年度の事業方針と方針を立てる前提として私が近頃考えていることを少し書かせてもらいます。

KFCは、2018年度の事業方針として、拠点をおく神戸市だけでなく積極的に他地域との連携や協力、協働を展開することをあげました。また国内外のNGOや大学、自治体など他機関との連携や協力をさらに展開、展望することもあげました。

今の日本では、経済、教育、文化、スポーツ等あらゆる分野でグローバル化が叫ばれ、政府、自治体、大学、高校、民間機関などでも「国際」的な「学び」や人の交流がもてはやされ、「グローバル狂奔」という状況が起きています。一方、難民の受け入れには、消極的であり、在住外国人の参政権に反対することが、希望の党の公認条件とされたりします。また人を働くロボットのごとく「輸入」するような技能実習生制度が「国際貢献」という関係者の誰もが信じていない建前の上で拡大しています。

私が奇妙に感じる「グローバル化」や「国際化」が推進されるのは、実際はご都合主義にもとづきうまく立ちまわることが「国際」的に生きることになっていることに対して、まず批判的思考をできる場ができていないこと、その思考を実践につなげる場ができていないからだと考えます。

グラスルーツ（草の根）な活動を続けてきた（続けるしかなかったという気もします）KFCは、いままでよりも開かれたKFCとして、本当に必要な時代の要請に伴う働きをしたいと思っています。世相に合わせず、「多文化共生」も唱えず、愛嬌も少ない（多分に理事長のせいです）KFCだからこそできる発信、可能性があると思うのです。

しかし新たな発信や連携、他者との協力のためには、多くの人の力をもらいエンパワーメントし、今までにない力づけ、KFCの内実を高めていくことが必要です。

日本で暮らす外国人・移民が、排外的な風潮やご都合主義の「国際」化のなかで、除外される「対象」、利用される「対象」、研究や交流する「対象」として眼差され、取り上げられる「外の国の人」という対象・役割を担わされつづける位置づけを変えられるようKFCは、もう一段の高みを展望したいと考えます。

私は、近頃新しいことに挑戦するためには、「弱さ」に向きあうことの大切さを考えています。自分の持っている偏見や無知、傲慢さや嘘に向きあうことはとても骨の折れることです。KFCもこれから自分たちの弱さに向き合わなければならないと思います。それでもこれからの社会で外国人・移民が公正な社会で生きられることを願う人たちの灯台のような役割を担える存在でKFCはありたいと考えます。（金 宣 吉）

■■■ 損保ジャパン日本興亜福祉財団「介護福祉士養成のための奨学金給付制度」の日本国籍要件についての要望書提出と要件撤廃の決定 ■■■

KFCで受信しているメールニュースの中に、損保ジャパン日本興亜福祉財団の介護福祉士養成のための奨学金給付制度の案内があり、要件の5項目目として「日本国籍を有する者」との記載がありました。その内容に問題を感じホームページを確認したところ、日本国籍が奨学金給付要件となっていました。その後、KFCの理事会で議論し、同財団として介護福祉士養成のための給付奨学金という意義あることをしているのに外国籍の学生の排除を行っていることは残念なことであるので要望書を提出することを決め、要望書を送りました。（右頁）その結果、同財団から5月23日付で次年度からの撤廃を検討、さらに6月20日付で次年度から撤廃を決定との回答が示されました。（下）今年度募集は残念ながら国籍要件がつけられてしまいましたが、次年度から国籍要件が撤廃されることになりました。

今後もこのような事例があれば是正してもらえようK F Cとして取り組んでいきたいと思
います。

■■■ 展示会「遺品が語る沖縄戦～隠された多様性を探して」を開催して ■■■

6月30日、新長田勤労市民センター別館ピフレホールで沖縄戦遺品展「遺品が語る沖縄戦～隠
された多様性を探して～」をK F Cとともに開催しました。82人の方にご来場いただき、客足が途絶
えることはありませんでした。

展示したのは、沖縄で60年間遺骨・遺品の収容を続けてきた国吉勇氏からお借りした68点の遺品、
沖縄戦の流れの概説と戦争体験者との証言とを織り交ぜたパネル、そして国吉氏ご自身のライフ
ヒストリーを紹介したパネルです。遺品については軍事品の割合を減らし、タンスの部品や食器
などの民間人の持ち物を多く展示することを心がけました。民間人の遺品を多用することで、壕
が本来住民の戦時中の生活拠点であったことを強調し、無^む辜^この住民の生活を簒^{さん}奪^{だつ}した地上戦の非人道
性を描き出すことが出来たと思います。また、国吉氏の生き様そのものを紹介することで、沖縄戦の記憶が沖縄
の人々の戦後の暮らし方をも規定したことを読み取っていただけるよう工夫しました。

さらに、来場者の方と沖縄への向き合い方や遺品の読み取り方を議論するワークショップを2回開
催し、2回とも立ち見が出るほど大勢の方に参加して頂くことが出来ました。遺品を見た感想や参
加者の沖縄との関わりから話を始め、沖縄戦への無知の自覚から現在の活動に突き動かされた私
の個人的な体験談、今回の展示スタイルに込めた意図などを共有しました。また、参加者の数人
からは本来持ち主がいるものを展示することが潜在的に持つ暴力性や、展示者の思惑を押しつけ
てしまう危険性など、展示を続ける上で重要な留意点を指摘して頂きました。今回頂いたご意見
を真摯に受け止め、今後の活動が続けていきたいです。

(沖縄戦遺骨収容国吉勇応援会・学生共同代表、イエール大学 西尾 慧吾)

■■■ K F C日本語プロジェクト ■■■

◆学習者アンケート調査報告

4月中旬から5月にかけて学習者に対してアンケート調査を実施しました。主な内容は①支援者へ
の満足度②教室への満足度を5段階（大変満足、満足、普通、不満、大変不満）で評価したもの
です。現在、定住外国人を対象に約40名の学習者が学んでおり、個別指導と、曜日ごとにボラン
ティア支援者の個性を発揮したレッスンを行っています。参加者の国籍はベトナム、中国をはじ
めブラジル、ロシア、インドなど多岐にわたっています。アンケートの主な結果は表の通り。

①大変満足と満足で100%と全ての学習者が満足している。②教室への満足度も、大変満足と満足
の合算で94%と非常に高い。一方、学習者が発言などを積極的に行っているかという質問には不
満が21%ありました。日本語が未熟なため言いたいことが言えないのか、言いにくい雰囲気がある
ためかとは不明でした。

個別意見としては、支援者の話す速さや一方通行になっているという指摘があり、改善の必要がありそうです。
教室定着率は半年以上の在籍者が80%以上で、逆説的に新しい学習者が輪に入り辛い雰囲気になって辞めてしま
うケースや、「卒業」制度がないため新規の参加が難しく、喫緊で困っている人やこれから来日する外国人の支
援をどうするかが今後の課題と言えそうです。（坪田 潤）

■■■ K F C外国にルーツを持つ子どもの学習支援 ■■■

◆新長田フィールドワーク

今年度も5月26日(土)に外国にルーツを持つ子どもの学習支援事業に関わる高校生・大学生など
を対象として、新長田の地域を知ってもらって関わってもらおうとフィールドワークを実施しま
した。

長田区役所に集合し、まず初めにケミカルシューズ工場「ロンタム」さんにお邪魔しました。
ガラス張りのとてもおしゃれな建物の工場内を神農社長に案内していただきながら、全ての作業
工程を見学させていただきました。長田区・兵庫区では、靴の工場で働いているベトナム人がた
くさんいますが、現在この工場には外国人スタッフはいないとのことでした。お話の中で、「以
前は中国やベトナムなどの海外製品の品質は良くなかったが、ここ2年で非常に良くなってきてい

ること、純粋な国内生産の靴は4%程度であること、これまで仕上げの工程に外国人スタッフがいたことがあるが現在はいないこと、その理由として日本語が不自由な外国人の場合、ニュアンスが伝わりづらく材質によって微妙な力加減をするなどの作業が難しいこと、ものづくりは出来た時の楽しみはあるものの労働時間が長く、人材が集まりにくいこと、有名靴デザイナーであるジミーチュウなども1日15時間働いていまだに自分で靴を作っていること、歩きやすさにこだわった靴づくりをしていること」など、靴づくりに関する様々なことを聞かせていただきました。

そのあとは、西神戸朝鮮初級学校の前を通過、ベトナム寺「Chùa Hoà Lạc（和楽寺）」に行きました。生徒・学生たちからは、「日本に来てからも、このように母国にあるようなお寺があり、通うことができるということが、とても良いことだなと思いました」「異国の文化や宗教についてももっと学ぼうと思った」などの感想がありました。

その後は、様々な種類のお肉が揃うマルヨネ、丸五市場、ベトナム食材店の前を通過してKFCまで戻りました。

高校生・大学生たちが地域に住む外国にルーツを持つ人たちの生活の一端を知り、子どもの背景にあるものを考えながら支援をしてくれることを期待しています。（志岐 良子）

■■■ ハナの会 ■■■

◆神戸空港への遠足

ハルモニに夏バテせずに元気に過ごしてもらうため、5月15～17日の3日間遠足を決行しました。まず神戸餐館で中華料理のバイキング。この店にはスタッフの知り合いがいるので、駐車場や座席を確保してくれました。バイキングスタイルは杖をついているハルモニの足が不安定になるので心配でしたが、旺盛な食欲のおかげで無事に料理を取りにいました。車椅子の人にはスタッフが一緒に回って食べたいものを選びました。みんな和気あいあいとして、食も話も進みました。料理はあっさりしていて脂っこくなかったから食べやすかったです。特にゴマ団子は揚げたてでアンコとゴマのバランスが丁度良く、みんなおかわりをしました。

お腹もいっぱいになり次に空港へ移動。展望デッキに上がるため順番にエレベーターに乗りました。飛行機の離発着はあまり見られませんでした。天気が良くて過ごしやすく、しばしおしゃべりを楽しみました。スタッフがアイスクリームを買ってくれたので、おやつタイムを設けました。バイキングの後なので、お腹はいっぱいのはずですが、おやつは別腹でみんなペロリと平らげました。

この日は、時間がたつのが早かったです。一人暮らしの方が多いので外食は喜ばれます。今回も楽しかった、美味しかった、また参加したい、などと言われました。スタッフ一同、年に1回は行きたいと考えています。ハルモニがいつまでも元気で明るくいることを願っています。（竹宮 章子）

■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

◆神戸まつり

5月20日、開港150周年を記念する神戸まつりが三宮の繁華街で開催され、私たちはパレードに参加しました。三宮の花舞台の西側に集合。とても晴れた青空の下で銅鑼や太鼓が鳴り響き、すごく賑やかでした。沿道にはお祭りを見物する大勢の人々が集まっていました。ヤンゲー踊りに参加するのは、お年寄りから青年まで平均年齢は60歳以上、それでもみんな若々しく、いきいきとしていました。鮮やかな民族衣装を身に纏い、ある参加者はロバと戯れたり、また別の参加者は花を飾り付けしたかごを肩にかけたりして踊りました。今回の踊りは大変素晴らしく、まさに私たち中国東北部の独特なヤンゲー舞そのものでした。パレードでも立派な振る舞いを表すことができました。

私はこの30年で初めて竹馬に乗って踊りに参加しましたが、あまり上手ではなかったのでみんなから温かい指導を受けました。今後のために、もっと上手に踊れるように頑張りたいです。そして毎年このような大きなイベントで踊りに参加したいです。皆様のご健康とご多幸をお祈りします。（郭 振奪）

■■■ グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ ■■■

◆水族園への遠足

5月19日、須磨海浜水族園に遠足に行きました。利用者様14名、職員7名、ボランティア6名、ご家族5名、合計

32名が参加しました。

遠足に行って良かったことと、改善が必要だったことがあります。良かったことは、利用者がイルカショーや他の動物を見て大変楽しまれたこと。参加されたご家族のみなさんも利用者様の様子を見て一緒に楽しまれ、みんなに笑顔があふれていたことです。改善が必要だったことは、事前に計画を詰める時間を持つべきだったということです。

遠足にお弁当を作って持って行ったことにも良い点と不安な点があります。良い点は、利用者様やご家族がおいしいと喜んだ点です。不安だった点は、万が一にも食中毒が起きてしまうかもしれないという点です。

今回、遠足に行った日は涼しかったのですが、湿度が高くなってくる時期でもありますので、その辺をもっと考えて次回にいかさなければならぬと思います。参加できたことは良い経験になったので、次回も機会があれば参加したいです。（森川 幸司）

■■■ 今後の予定 ■■■

■「多文化共生」を考える研修会2018

8月20日(月)

13:35～15:00「少年時代の在日コリアンとの出会いが映画づくりにもたらすもの」行定勲（映画監督）

15:15～16:45 「外国人の子どもと貧困～minami子ども教室を取材して～」 宣英理（NHKディレクター）

8月22日(水)

13:30～15:00「CLD児にみられる発達の問題～子どもの困り感と支援のニーズ～」

近田由紀子（文部科学省初等中等教育局 国際教育課外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサー）

15:15～16:45 「学校におけるシチズンシップ教育のあり方～多文化共生の観点も含めて考える～」藤原孝章（同志社女子大学特任教授）

8月24日(金)

13:30～15:00「今日における『外国人』問題とはなにか」 近藤敦（名城大学教授）

15:15～16:45 「技能実習制度と実態～中部地方の事例から～」 樽松佐一（愛知県労働組合総連合議長）

8月27日(月)

13:30～15:00「外国人政策の歴史的変遷～在日コリアンの歴史から～」文京洙（立命館大学国際関係学部特任教授）

15:15～16:45「多文化社会ケベックの挑戦～インターカルチュラルリズムという方法について～」竹中豊（日本カナダ学会顧問）

■研修会「音符を活用した漢字の学習法」

7月28日(土)13:30～15:30(7月7日分の振替)石沢誠司（漢字音符研究会）対象：日本語支援者

■日本語クラス 図書館見学会

7月24日(火)10:30～11:30

新長田図書館 対象：日本語クラス在籍者

■夏休みわいわい英語教室&夏休み読書会

7月27、8月3、17、31日(いずれも金) 15:15～16:50新長田図書館対象：外国にルーツを持つ小学生

■KFC帰国者新長田交流会

9月11日(火)敬老会

■KFCハナの会

8月21日(火)、22日(水)、23日(木) 夏祭り

■グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ

8月20日(月) 夏祭り

■普通免許試験対策講座

8月21日(火)、23日(木)、28日(火)、29日(水)、30日(木)13:00～16:00 (1日2コマ)

対象：日本語レベルがN2以上程度で、普通運転免許取得を目指す外国にルーツを持つ17歳以上の方